

千葉県社保協通信

2020年度 No.17 2021年 2月 26日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

コロナ災害を乗り越える
いのちとくらしを守る

千葉会場
20件

2. 20なんでも電話相談会

新型コロナウイルスの影響が広がる中、「コロナ災害を乗り越えるいのちとくらしを守るなんでも相談会」実行委員会による無料・全国いっせいで電話相談が2月20日(土)10時~22時まで行われました。

13時のNHKニュースで報道されると千葉会場(12時~19時)の4台の電話が一斉に鳴り、終了までに20件(内県外4件)の相談が寄せられました。

今回は30代~70代まで幅広い年齢から相談が寄せられました。●「非正規で働いていた会社が倒産。どんな支援が受けられるのか」(60代男性) ●コロナで派遣切り。息子も転職したばかりで余裕なし。生活保護を利用できるか?(40代女性) ●理容業コロナで仕事激減。アルバイトしたい。貸付制度はないか?(60代女性) ●一昨年15号台風で店が全壊。自宅も一部損壊で生活できない。(70代女性) ●脱サラして開業を予定していたがコロナで困難に。利用できる制度はないか・・・等々です。

コロナ禍ばかりでなく、一昨年台風被害による経済的困窮、さらに健康不安など精神面にも深刻な影響が広がっていることが明らかになりました。



弁護士、ソーシャルワーカー、
ちば労連労働相談員など11人が相談に対応。

いのちとくらしを守るなんでも相談会

解雇や賃金不払い、パワハラなどの労働相談
生活相談・多重債務・法律相談・・・
~各分野の専門家が対応します~

日時 3月27日(土)13時~16時
●JR千葉駅東口にて案内
相談会場:千葉市民会館 会議室

＝主催＝

いのちとくらしを守るなんでも相談会実行委員会ちば

県憲法共同センター・消費税廃止連絡会・社保協

消費税引き下げ 軍事費削って
コロナ対策にまわして !!



2月24日(水)昼休み、JR千葉駅東口で8団体13人の参加で定例宣伝を行いました。「消費税は社会保障のためと言いながら、医療・介護の負担は増え、給付は減らされるばかり」「病院のベッドは減らし、年金や生活保護費は削減。消費税は、いったいどこに行ってしまったの?」「コロナ禍で日本の社会保障の脆弱さが明らかに」「軍事費や不要不急の公共工事を減らせば、コロナ対策の予算は確保できます」と訴えました。

「75歳以上の医療費窓口負担を2倍にするなんて!」と怒り心頭の女性(90歳)は「娘から外で住所や名前を書いてはダメと言われている」と言いながら「近所の友達にも話すから」と署名用紙を持ち帰りました。